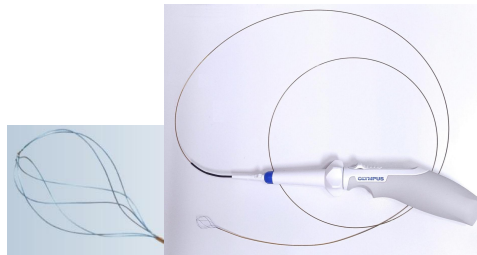
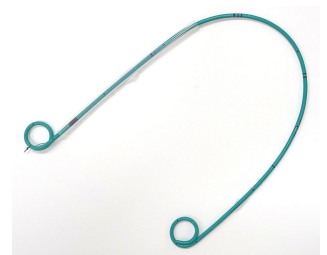




軟性尿管鏡(細径内視鏡)



バスケットカテーテル



尿管ステント

◆ 経尿道的結石碎石術 (TUL) の実際

脊椎麻酔(下半身麻酔)または、全身麻酔下に軟性尿管鏡(細径内視鏡)を尿管や腎まで挿入し、直接結石を確認しながらレーザーを用いて破碎する治療法です。直接観察することで、安全かつ確実に碎石することが可能となり、割れた結石はバスケット状のカテーテルを使用し、身体の外へ取り出します。多くの症例では、尿管ステントを留置して終了します。入院期間は1~2日です。

【経尿道的結石碎石術 (TUL) の手順 (内視鏡下)】



● 経皮的腎・尿管碎石術 (PNL)

TUL困難な症例に対して経皮的腎・尿管碎石術(Percutaneous Nephrolithotripsy: PNL)を行っています。PNLは、まず腎瘻という背中から腎臓に小さな穴を開け、その穴から内視鏡を入れ、結石を碎石し、取り出す治療です。TULとの違いは、比較的大きな結石に対して行われることが多い手術です。破碎した結石片は、経皮的に体外へ取り出すことができますが、その反面、腎臓に穴をあけるので出血のリスクもあります。入院期間は、約1週間前後です。

【経皮的腎・尿管碎石術 (PNL) の手順 (内視鏡下)】

